

## 拡大物性委員会（物理学会インフォーマルミーティング）議事録

2012年3月25日（日）18:00–20:00

日本物理学会 第67回年次大会 関西学院大学 AF会場

[出席者（敬称略、50音順）]

新井正敏(J-PARC・JAEA), 家泰弘(東大物性研), 石川義和(富山大理), 石田武和(大阪府立大工), 上田和夫(東大物性研), 大貫惇睦(阪大理), 小形正男(東大理), 鹿児島誠一(明大理工), 加藤勝(大阪府立大工), 神木正史(首都大理・JPSJ), 川畑有郷(日本物理学会), 北野晴久(青山学院大理工), 倉本義夫(東北大理), 河野公俊(理研), 小森文夫(東大物性研), 斎藤晋(東工大理), 坂井徹(JAEA), 榊原俊郎(東大物性研), 佐藤正俊(CROSS), 斯波弘行, 高田康民(東大物性研), 高野宏(慶大理工), 高島敏郎(広大先端), 瀧川仁(東大物性研), 太宰達三(学会事務局), 田島節子(阪大理), 田中智(大阪府立大理), 遠山貴巳(京大基研), 戸川欣彦(大阪府立大), 鳥養映子(山梨大医工), 野尻浩之(東北大金研), 萩原政幸(阪大極限量子科学研究セ), 播磨尚朝(神戸大理), 福山秀敏(東京理科大大理), 藤井保彦(CROSS 東海), 松田康弘(東大物性研), 水島俊雄(富山大理), 三宅和正(阪大基礎工), 村上洋一(KEK・物構研), 村田恵三(阪市大理)

事務局：西田信彦(東工大理), 西森秀稔(東工大理), 古賀昌久(東工大理)

計 43 名

配布資料

- ・ 物性研報告
- ・ 高エネルギー加速器研究機構・物質構造科学研究所報告
- ・ J-PARC
- ・ 京大基礎物理学研究所報告
- ・ 強磁場施設報告
- ・ CROSS 報告

報告

西森事務局長より以下の報告があった。

### 1. 入退会状況および会計報告

・ 2012年3月25日現在 グループ数 173 委員数 206名 メンバー数 1023名

議事

### 1. 次期事務局(2012.10–2015.9)案

大阪府立大学

石田武和氏(委員長), 田中智氏(事務局長), 加藤勝氏(事務局員), 戸川欣彦氏(事務局員) 原案通り、承認された。

### 2. JPSJのこれまで、いま、これから

標記テーマで、鹿児島誠一氏(明大理工)、瀧川仁氏(東大物性研)、小形正男氏(東大理)に講演して頂いた。

#### 1) JPSJ のこれまで (鹿児島氏)

- ① ジャーナルにおける電子システムと財政に関する問題点について
- ② 1999年3月15日にまとめた物理学関連学術誌電子化出版協議会活動報告書の紹介

#### 2) JPSJ 刊行の海外提携に関する刊行委員会での検討 (瀧川氏)

- ① JPSJ 刊行の現状と課題、刊行委員会の取り組みの紹介
- ② IOP との提携の検討状況ならびに懸念される問題について

#### 3) Editor からみた JPSJ (小形氏)

- ① 編集委員会からの現状認識について
- ② 学会員の心理的な効果についての意見

#### 4) (意見交換における主な意見の概要)

- ・ IOP に移転したとき、研究者から見てどのように変化するか教えてほしい。
  - A. 二種類のホームページがあり、一方は現状とほぼ同じスタイルとなる。機能は IOP と同じものとなる。著者や読者から見ると何も変化しない。作成した PDF ファイル、ホームページの管理、海外販売を IOP に移転する。
- ・ IOP に移転する際には、どのパッケージに JPSJ が含まれるかが重要
- ・ 現体制の問題点、IOP への委託によるメリットは認めるが、第三の方法として JSTAGE の利用もあるのでは？ JPSJ の価値を高めることが重要。最終的に独り立ちできるよう、もう少し議論の時間が必要。
- ・ JPSJ の将来についての最高議決機関は理事会。物理学会はボトムアップの機関なので、コミュニティの理解が得られないと動かない。危機感を会員が共有してほしい。

以上